

# 新しい空の時代への布石

—新熊本空港の起工式から—



起工式場の展望台で—左から2人目中曾根運輸大臣と寺本知事



造園工学科を設置しては……、小形さん

をつくり、熊本に観光に来た人は庭園を見、気に入った石とか木があったら買って帰る、そうすれば素通り観光県防止にもつながると思います。

## “人工的な過疎地帯”も

### 立派な観光資源

恒松 いっそのこと、一見、自然にみえるような人工的な過疎地帯を作るのも面白いですね。

知事 水前寺に人が見にくるように、奥の庭園を見にくくするようなことですね。

自然な姿に見えるような過疎地帯ということでは、五木にしましても開発が進み、国定公園の審査会が、秘境らしいところはじゃないかと失望しておりますが確かにおっしゃる通りですね。

中西さんは、レポートのなかで、宇土半島と熊本を結ぶという大きな構想の広域行政について述べておられました。…。

中西 いま、三角では、大矢野と合併したらという話があるんですが、私は、時代の要請でもあるし、熊本と合併したらと思うんです。三角港を活用するという意味におきましても。

それから、宇土半島の山腹を縫って天草五橋に結びつける観光と産業を兼ねた道路を作っていたらいいですね。これは、専門家の話では不可能ではないということでした。そうしますと素晴らしい私達の郷土ができると思います。

知事 宇土半島スカイラインですか、これは新提案ですね。

—それは、時間がきたようですからこの辺で。

知事 皆さん大変ありがとうございました。これからも、募集に応じるということとでなくてもどんどん知恵を貸して下さい。

## ユース・ブレイン

入選レポートの掲載について……□

入選された十篇の全文掲載は、紙面の都合で困難でしたので、止むなく各部門からの抽出ということになり、六篇だけを掲載（二六頁から）することにしました。

なお、他の四篇のレポートの内容については、次のとおり主張の要点をまとめてみましたのでご了承ください。（編集係）

### ◇土屋歳明（人吉市矢黒町・農業）

総合的な農業経営指導をしてくれるコンサルタントを設けて欲しい。各単位農協の合併によるマンモス化によって農協の体質改善を。又、中山間地帯の農家のために、山林の開発を進めて欲しい。そのため国、県、市町村所有の山林を払い下げを。これによって茶園、栗、その他の果樹園の造成、和牛育成牧場の開発は実現されるものと思われる。

### ◇池田茂次（牛深市牛深町・漁業）

水産物の流通機構の整備を。問題点として流通機構の基幹をなす陸上荷上荷捌所の近代的設備は急務である。漁協を中心母体とし、関連産業を一体化した設備を推進する。又、養殖漁業育成のため、各漁協に対する指導の強化と漁業権の再検討を行ないながら漁連、漁協を中心とした協業集約化の態勢へ。そのほか、海外の魚介類種苗センターの実現を、など。

### ◇上田勝利（熊本市水源町・会社員）

県の観光、農業、工業、交通、人材の育成について。まず観光では、総合的な観光開発を進め、観光客の足止め策に力を入れよ。農業面では稲作を中心に、柑きつ類、促成栽培野菜、酪農にポイントをおき農業近代化を進め、工業面では県内企業の育成をはかり、一方機械工業部門の誘致を。交通網の整備対策の一つとして市近郊を走る電車を県営でやったらどうか。人づくり対策として県立青年の家建設を、など。

### ◇中西恵吾（宇土郡三角町・農業）

若い労働力の流出防止策として、地場産業を育成強化する。労働力供給県より「頭脳供給県」とすべく、産業開発と教育面の振興で後進性を打破しよう。農政問題としては、特に密柑栽培を、長期的な視野に立って適地主義を確立すること。又、広域行政のあり方として、現在の町村を大きく合併させ、財政効果を發揮できるようにしたらよい。さらに不知火海干拓事業に関連して熊本市と宇土半島の合併なども考えられる、など。